

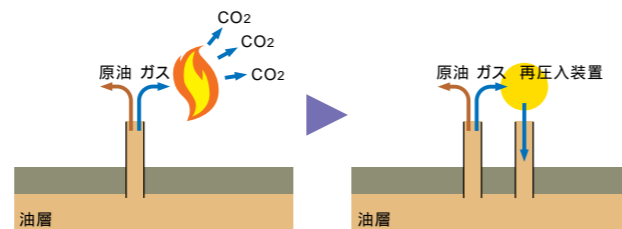
できることから、積極的に、
環境負荷の低減に取り組んでいます。

産油国でのゼロフレアプロジェクト

今でも世界の油田施設で見られるオレンジ色の炎(フレア)は、原油生産に伴って地中から出てくるガスを燃焼させているもので、これにより、大気中へ多くのCO₂などの環境負荷物質が排出されています。コスモ石油の子会社であるアブダビ石油では、3つの油田において、このガスを地中に再圧入する「ゼロフレアプロジェクト」を2000年にスタートさせました。これにより、年間約20万トンのCO₂排出量を削減しています。



ゼロフレア・プロジェクト



タンカーのダブルハル化

原油は、タンカーによって産油国から日本へ運ばれます。航海の最優先事項は、あくまでも「安全」です。コスモ石油では、万が一の流出事故に備えて、1998年よりタンカーのダブルハル化を進めています。二重構造のハル(船体)により、事故が起きた場合も、原油が流出しない仕組みになっています。



原油の流出を防ぐダブルハルタンカー

SSでのエコ・コスチューム、太陽電池の採用

もう、お気付きの方も多いと思います。SS(サービスステーション)のスタッフのコスチュームが変わりました。再生PET樹脂を50%以上使用した「環境保全型コスチューム」です。また、CO₂排出量を削減するために、2001年11月、10カ所のSSにソーラーパネルを導入しました。10カ所のSS合計で、年間約17万kWhの電力消費量、約63トンのCO₂排出量を削減できる見通しです。



石油業界では初めてエコマークの認定を受けた「環境保全型コスチューム」



ソーラーパネルを導入したSS